

小・中で系統的な学び！

9年間で視野に入れた系統的、連続的な学習、生徒指導、進路指導を組織的に展開することで、小中の円滑な接続と児童生徒の成長を目指します。

『五郷地区合同運動会』

保育所、小学校、中学校と地域住民で行う合同運動会。地域の行事で自分達の仕事や役割を果たすことで、地域の一員であることを自覚します。

『将来の地域の担い手』として成長する姿も見られます。



『9年間の異年齢集団の活動』

小中合同で多くの学習を行います。異なった年齢での集団活動を通して、**思いやりの心や責任感**など豊かな心を育みます。中学生が小学生を気遣ったり、小学校高学年児童が低学年児童に優しく声をかける姿も見られます。



『子どもの発達段階や学習内容の系統性をいかした学習』

中学校教員による小学校高学年の外国語（英語）の授業や学習内容の系統性を考えた、小学校高学年と中学校1年生の合同授業など、**子どもの発達段階に応じた指導**で個々の力を伸ばします。



小学校高学年での一部
『教科担任制』を導入。
毎週中学校で学習します。（外国語）

『五郷学習』

ふるさとの歴史を学んだり、地域での様々な体験活動を通して、『五郷』の良さに気づき、**五郷を愛する気持ち**を育みます。五郷学習のまとめとして行う文化祭での『創作郷土劇』には、地域の方を含め多くの方に来校いただきます。



今年の文化祭『郷土劇』には、保護者・地域の方も参加いただきました。

「五郷小・中」の特色ある教育

「五郷学習」

9年間の育ちの中で、特色ある「五郷学習」をすすめ、五郷を愛する気持ちと「将来の地域の担い手」として生きる力を育てます。



生きる力

「一貫した生活指導」

「五郷の心得」を中心に9年間を視野に入れた段階的な生活指導を組織的に展開することで、自尊感情を高め、豊かな人間性や社会性を育てます。



豊かな心

「小中一貫学習カリキュラム」

英語科などをふくめた一部「教科担任制」を小学校段階から取り入れ、系統性・継続性のある学習指導を行うことにより、確かな学力を育みます。



確かな学力

経験を積み重ね、「知識」を「知恵」にかえ、たくましく共生できる子どもの育成

地域と共に育てるコミュニティ・スクール

「地域と共にある学校」

「ふるさと創生実行委員会」「五郷婦人会」「五郷区長会」やPTAなど保護者、地域諸団体のメンバーからなる「学校運営協議会」では、**五郷の子どもたちにどんな教育的な支援ができるのかを協議**し、保護者・地域・学校の三者で子どもたちの成長に必要なことを考え、活動を行っています。

その基本理念はWIN-WIN（学校、家庭、地域が笑顔になる。元気になる。）だと考えています。



「学校運営協議会」



文化祭での「郷土劇」にも参加していただきました。

「豊かな自然」を活かした体験活動（「五郷学習」）

地域の方々にご支援いただき、豊かな自然を活かした体験学習を行っています。秋には、ご協力いただいた保護者、地域の方や五郷の豊かな自然に感謝して「収穫祭」を行います。



「収穫祭」も多くの地域の方に参加いただきます。

系統的な学習

一部「教科担任制」の実施(外国語・英語)

小学校課程の「外国語」本格実施にともない、小学校5・6年生においては、昨年までの「出前授業」から毎週2回中学校へ訪問し、中学校の英語科担当が授業を行う、一部「教科担任制」を実施しています。

この取組を実施することにより、小学校高学年から中学校まで同じ中学校の英語科教員が授業を担当することで、**子どもの発達段階に応じて、より専門的で細やかな外国語指導が実施**できるとともに、子どもの学習に関わる「つまずき」を早い段階で支援することができます。また、いわゆる「中1ギャップ」の解消にもつながっています。



中学教員による外国語の授業

学習内容の系統性

義務教育9年間の学習内容を把握し、その系統性を考え学習を進めます。5教科を中心に、義務教育9年間で身につけるべき力を、小中の教員で共通理解を図り、子どもたちに「確かな力」を身につけるため、系統的・連続的に学習を進めます。



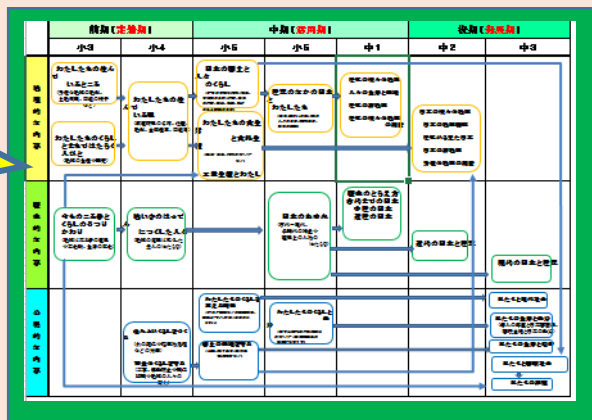
学習内容の系統性を考えた理科における【生物】分野の授業



小・中基本プログラム(社会科)

小5年生から中学1年生による合同授業

義務教育9年間
学習内容系統図
(社会科)



小中合同研修会

小中学校の教職員が、定期的に合同研修を行い、9年間の育ちの中で子どもにつけたい力やめざす子ども像などを共有しています。またそれぞれの学校で相互に授業研究を行いながら、小中での指導方法の相違などについて確認をしています。